中体連功労賞を受賞して

熊本信愛女学院　　菊池　みずほ

平成２７年度熊本県学校体育功労賞を頂く栄誉を受け賜り感謝いたします。多くの生徒・保護者・地域の方々、諸先輩、同僚、体育関係者の皆様の支えがあってのことと心より感謝申し上げます。

体育の路に進むきっかけは、小学５年生の時の担任との出会いでした。体育という大好きなことに没頭できる幸せを教えてもらいました。中学時代に新体操と出会い、高校ではインターハイも経験することができました。その時に、スポーツの厳しさと、それを乗り越えた時に味わえる達成感も得ることができました。全て故 隈部妙子先生のおかげと感謝しております。体育教師を目指して大学に進学し、「熊本県の新体操の発展に寄与できる人材になれ」という先生の教えを守り、無事体育教師になることができました。中高一貫教育熊本信愛女学院で新体操部を立ち上げ夢に向かって走り始めました。奉職４年目で高校生の生徒たちをインターハイに出場させることができました。しかし、私の思い描く競技内容にはほど遠いものでした。技術はもちろん、精神面を鍛える必要性を強く感じました。カトリックの信愛女学院だからこそできた徳育、それが最初に開花したのは、更に２年後の全国中学生新体操大会の種目別においてでした。ボールの部で全国優勝することが出来ました。団体競技では、九州中学生新体操大会で 2004 年から 12 回も優勝することができました。当時、熊本未来国体（1999 年）と熊本新世紀総体（2001 年）を控えて、高校生の練習内容がレベルアップをはかる中、中学生もお姉さん方を見習って、飛躍的な成長を遂げてくれたと思います。全国中学生新体操大会における生徒たちの活躍ぶりには、指導者である私のほうが圧倒されました。特に 2002 年の京都大会は優勝を目前にする勢いで感動の連続でした。その時の選手たちと流した涙は、深く心に刻まれています。これらのすべてが、生徒たち本人の努力はもとより、それを支えたくれた保護者の方のおかげであると感謝の気持ちでいっぱいです。

38 年間という長い教師生活を熊本信愛女学院で奉職させて頂き、熊本県の中体連に関われたことに深い喜びを感じています。

最後になりましたが、熊本県中体研・中体連の益々の発展と諸先生方のご健勝とご活躍を祈念申し上げるとともに、ご指導いただきました多くの先生方に感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。